

第 1 回 杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会会議録

会 議 名	第 1 回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会		
日 時	令和 4 年 8 月 9 日（火）午後 2 時 00 分～ 4 時 17 分		
場 所	西宮中学校 2 階多目的室		
出 席 者	懇談会委員 15 名（欠席 13 名）		
傍 聴 者	なし		
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育委員会事務局学校整備担当部長挨拶 3 出席者紹介 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員自己紹介 (2) 事務局紹介 4 進行役選任 5 西宮中学校・宮前図書館の改築について 6 西宮中学校の特色等について 7 意見交換 8 事務局からの連絡事項 9 閉会 		
資 料	資料 1	杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会	委員名簿
	資料 2	杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会	運営要綱
	資料 3	西宮中学校・宮前図書館の改築について	
	資料 4 - 1	西宮中学校	学校要覧
	資料 4 - 2	令和 4 年度 杉並区立西宮中学校	学校経営方針
	参考資料 1	杉並区立学校施設整備計画（第 2 次改築計画）（概要版）	
	参考資料 2	杉並区立学校施設整備計画（第 2 次改築計画）	
	参考資料 3	杉並区教育ビジョン 2022（概要版）	

教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、時間になりましたので、本日、お忙しい中、西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、今回、懇談会委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、第 1 回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会を開催いたします。</p> <p>私、教育委員会事務局学校整備課の担当係長の安川と申します。今日</p>
------------------	---

	<p>は初回ですので、進行役が選任されるまでの間、会の進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の懇談会ですが、2時間程度を予定しております。午後4時ごろまでをめどに進行したいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、学校整備担当部長の中村よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>学校整備担当部長</p>	<p>皆さん、こんにちは。教育委員会事務局、学校整備担当部長の中村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>コロナ禍で、アクリル板もありませんから、着座にてご挨拶をさせていただきます。お許してください。</p> <p>本日は暑い中、またコロナがまだまだ猛威を振るう中、こうやって対面での懇談会にご参加いただきまして、本当にありがとうございます。できる限りの感染対策を講じた上でやってまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、杉並区では区長も代わりまして、とはいうものの、昨年度「みどり豊かな住まいのみやこ」という新しいスローガンの下、基本構想を策定いたしました。また、私ども教育委員会としても、もうご存じのことだと思いますが、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を目指した新しい「教育ビジョン2022」を策定したところでございます。</p> <p>新たな基本構想及び教育ビジョンでも、これまで同様着実に、この西宮中学校もそうですけれども、老朽化した教育施設の改築を進めていく。そういう所存でございます。</p> <p>また、この改築に当たっての大きなポイントとして、学校あるいは図書館のような社会教育施設の活用を通じた学びの支援といえますか、区民が学び合い、教え合う拠点の1つとして、この学校施設をつくり上げていくということが1つの方向性として出されております。</p> <p>このことは先ほど申し上げた教育ビジョンでも、何よりもまず子どもたちの学び舎である、これが学校です。それを第一とした上で、この学校を新たな学びのプラットフォームとして地域に開放していく。そういった将来像が、教育ビジョンでも描かれてございます。</p> <p>区ではこういった観点から、今回この西宮中学校、それからお隣にございます宮前図書館の改築検討懇談会を設置し、地元の皆さんと一緒にこの中学校の改築と同じく、建て替えの時期を迎えている宮前図書館とを併せた教育施設として建て替えてまいりたいと考えているところで</p>

	<p>ございます。</p> <p>ご存じの方も多いと思いますが、区内には既に高井戸中学校に併設された高井戸図書館がございますが、そのような実例も踏まえて、今後、皆様にもご紹介をさせていただきたいと思っているところでございます。</p> <p>この間、私も本職に就いて5年ぐらい経ちますが、幾つかの中学校の改築を行ってまいりました。学校の改築、とりわけ中学校の改築というのは、まちのありようを大きく変えるもの、影響するものでございまして、とりわけ、この地域図書館も併せて行っていくとなれば、なおさらでございます。事務局では、これまでも近隣の先進自治体等、視察をたくさん行いまして、この間、見聞を深めてまいりました。</p> <p>様々なメリットもデメリットもございますが、それらを皆さんと共有して、ご意見を賜りたいと思っているところでございます。</p> <p>これ以外にも、中学校単体の改築といたしましても新たな教育ニーズにどう対応していくのか、あるいはまた、昨今、地球環境保全を念頭に置いた学校づくり、教育施設づくりというのも、大きな課題でございます。さらにはまた、もちろん小学校も中学校もそうですけれども、いざというときの震災救援所の機能といったものも併せ持つなど、様々な課題は尽きないわけでございますが、皆さんにしっかりと問題提起をさせていただき、解決策を見つけてまいりたいと思っているところでございます。</p> <p>少し最初のご挨拶が長くなりましたが、いずれにしましても様々なご意見を頂きながら、丁寧に進めていく所存でございますので、どうかよろしく願いいたします。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>それでは、事前にお送りさせていただきました資料と、本日席上に配付しております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前にお送りしたものが次第と、次第に記載してあります資料1から資料4、それから参考資料として1から3。最後に、ご感想シート・アンケートという1枚のものがございます。あと校長先生などにはお送りしておりませんが、返信用の封筒を皆様には同封していたと思います。それから、今日席上に配付いたしましたものとして「宮前だより」ということで、A5判の小さな冊子を2つお配りしてございます。</p> <p>資料が足りない方など、いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p>

	<p>それでは、冒頭、懇談会を進めるに当たりまして、1点お願いがございます。</p> <p>今回の会議につきましては、原則公開となります。また会議資料や議事要旨は原則公開となりまして、後日、教育委員会のホームページの方に掲載させていただく予定です。会議の記録のため、今日も録音と、一部撮影などもさせていただきますことをご了承、お願いいたします。</p> <p>1点、皆様にお諮りをさせていただきたいのですが、会議録の残し方につきましては委員名を伏せた形で記録ということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「はい」の声あり）</p> <p>それでは、異議なしということで、委員名を伏せた形で議事録を記録させていただきます。ありがとうございます。</p> <p>また、懇談会の傍聴を希望される方がいらっしゃった場合は、基本的に認めることとなっておりますので、ご了承願います。本日は、今のところ傍聴の方はいらっしゃっておりません。</p> <p>資料についてですけれども、次回以降も使用する場合がございますので、大変お手数ですが、懇談会開催時には次回以降もご持参いただけますように、よろしくお祈りをいたします。</p> <p>それでは、次第の3「出席者紹介」ということで、資料1の方で懇談会の委員名簿をお配りしてございます。</p> <p>それでは、本日は第1回でございますので、顔合わせという意味で、お一人ずつ簡単に自己紹介をお願いできればと思います。</p> <p style="text-align: center;">（委員の自己紹介）</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>引き続きまして、事務局の職員と関係課の職員をご紹介させていただきます。資料1の裏面に名簿を載せてございます。</p> <p style="text-align: center;">（事務局及び関係課職員紹介）</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>続きまして、次第4ということで、進行役の選任に移りたいと思います。本懇談会につきましては、学校関係、図書館関係、町会、自治会、また学識経験者の方々と、様々な方面から委員としてお集まりい</p>

	<p>ただいております。</p> <p>議事の円滑な進行を担う役割として、どなたかに懇談会の進行役をお願いしたいと思いますけれども、今まで他の学校でも懇談会では改築当該校の校長先生をお願いをしているケースが多くございます。今回も西宮中学校の校長先生に進行役をお願いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。</p> <p>(拍手)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ここから校長先生の方に進行役をお願いいたします。</p>
進行役	<p>僭越ながら、大任を引き受けさせていただければと思います。</p> <p>次第に沿って進行してまいります。</p> <p>まずは次第の5「西宮中学校・宮前図書館の改築について」、事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、資料3をお開きください。おめくりいただいて2ページ目、「西宮中学校の概要」でございます。</p> <p>生徒数・学級数の推移を示してございます。西宮中学校は昭和の時代にかかなり多い時期がございましたけれども、平成以降、グラフで載せていますけれども、およそ30年前、93年以降は10学級から12学級ということになっておりまして、今年度も10学級、348名。</p> <p>右の方に今後の推計を載せさせていただいておりますが、令和6年度に12学級に少し増えますが、その後、11学級。載せておりませんが、令和9年度はまた10学級になる予測となっております。</p> <p>続きまして、施設の規模でございます。敷地面積は1万808㎡。ただ、直近の測量結果では1万77㎡程度ということになっており、こちらの方が割と正確なのかなと考えてございます。校舎の延べ面積は現在5,033㎡、運動場の面積は、測り方にもよりますが、4,635㎡ということになってございます。体育館の面積、プール等は記載のとおりでございます。</p> <p>3ページ目で、「西宮中学校 校舎の状況」を記載してございます。本校は昭和36年に設立いたしまして、区立宮前中学校西分校が独立して、西宮中学校として設置をされてございます。</p> <p>当時の校舎が今も特教棟、管理・教室棟がメインの校舎となっております。2年後の昭和38年に体育館、翌39年にプールが完成してございます。</p> <p>その後、昭和41年に北側の給食室が完成し、昭和55年にテニスコ</p>

ートと校庭フェンス等の工事がされてございます。

昭和 57 年に北東の角っこにあります家庭科室の部分が増築されて、平成 12 年に耐震改修補強工事、平成 13 年に北東側の校舎、ちょうどこの多目的室がある辺りの校舎が改築されて今日に至っているという状況で、メインの校舎は築 61 年になっているという状況でございます。

おめくりいただきまして、4 ページです。「西宮中学校の改築に至る経緯について」ということで、杉並区では平成 26 年に「杉並区立小中学校老朽改築計画」というものを定めまして、学校施設については改築時期をおおむね築 50 年から 60 年、遅くとも築後 65 年までには改築するということとしてございます。

区立の小中学校のうち、築 50 年以上の建物が、2 年前の状況ですけれども、全体で 35 校。全校の 55%、過半を占めるような状況で、今後集中して建て替えを進めていかなければいけない状況があるということでございます。

そうした中、トータルコストの縮減ですとか予算の平準化なども図りながら、計画的に施設を更新していく必要があるということで、昨年 3 月に「学校施設整備計画」というものを改訂してございます。こちらの方、今日は参考資料 2 として後ろにつけてございます。

こうした状況を受けまして、昨年度、区の実行計画を改定する中で、築 61 年となっております西宮中学校について、改築の計画がされたという状況でございます。

続きまして、5 ページ目です。(3) 学校施設の目指すべき姿ということで、昨年度改訂されました「杉並区立学校施設整備計画」の中から、今の学校改築に当たっての一般的な考え方ということで、主立ったところを記載させていただきました。

西宮中学校で特にといいことではありませんが、まず第 1 点として「将来を見据えた教育環境の確保」ということで、安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備。多様な教育に対応できる学習環境の整備。地域の拠点となる開かれた学校づくり。将来転用可能な柔軟性のある施設づくり。また、環境に優しい施設づくり。

それから、②といたしまして「学校施設の標準規模の見直し」ということで、これは平成 26 年の老朽改築計画からさらなる標準規模の見直しということですが、現在、中学校では、以前あったパソコン教室ですとか武道場等について、パソコン室はタブレットの普及などによ

	<p>って各教室でやるというところから廃止されるなど、必要な見直しを図ってございます。</p> <p>それから、地域の核となる施設としての適切な施設規模の確保といったようなことが挙げてございます。</p> <p>(4) 改築検討における主な視点でございます。こちら先ほど同様、「学校施設整備計画」からの抜粋でございますが、先ほどありました将来の生徒数の変化なども見込んだ施設をつくる。あるいは、防災機能の充実や地域に開かれた学校づくり。コスト面等を含む総合的な視点に立った施設づくり。それから、築 80 年を目指した長寿命化、80 年耐えられる学校づくり。懇談会でしっかり皆さんの意見を聞きながら、踏まえた検討を進めていく。また、学校プールについては、今後多方面から、その有無も含めて検討していく予定としてございます。</p> <p>この後、各担当の方で分担して説明をさせていただきますので、6 ページ、7 ページについては施設マネジメント担当の方からご説明させていただきます。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>では、6 ページ、7 ページ、項番で申しますと 4 番「区立施設再編整備計画について」、そして 5 番「西宮中学校と宮前図書館の複合化について」、施設マネジメント担当課長の最上からご説明をさせていただきます。</p> <p>施設マネジメント担当はこういった仕事をさせていただいているかというところですが、項番の 4 番に「区立施設再編整備計画」というものがございます。こちらは学校ですとか図書館も含めた区立施設全体の改築ですとか、改修ですとか、あるいは転用するといった計画を担当してございます。ですので、学校や図書館だけではなく、例えば保育園ですとか児童館ですとか、あるいは地域区民センター、そういった区立施設の改築・改修等の計画の取りまとめを担当させていただいてございます。</p> <p>私は 3 年目ということで、昨年度、実は「区立施設再編整備計画」というものも、第 2 期計画として新しく策定させていただきました。その中で、西宮中学校と宮前図書館の改築も計画させていただいたというところでございます。</p> <p>私自身のことを申しますと、現在のポストは 3 年目というところではありますが、その 10 年ほど前には教育委員会事務局の庶務課というところにおりました。冒頭、部長の方から新しく教育ビジョンを策定させていただいたというお話がありましたけれども、前回の教育ビジ</p>

ョンは当時担当させていただいておりました。

また、西宮中学校とのご縁ということだと思いますと、当時、海外から杉並区の中学校が部活と学問をどう両立しているか、視察をさせていただきたいというお話がありました。当時の西宮中学校の校長先生にも相談して、視察を受け入れていただいて、視察をされた方からも大変ご好評を頂いたというところがございます。そうした縁があった西宮中学校について、こうした新しい学校に向けた取組ということで、また携わることができることを大変うれしく思っております。

それでは、資料に基づいてご説明させていただきます。若干順番が前後して恐縮ですが、下段の「西宮中学校と宮前図書館の複合化について」というところがメインの内容となりますので、まずご説明させていただいて、次に補足として、この「区立施設再編整備計画について」ということをご説明させていただきます。

では、5番の「西宮中学校と宮前図書館の複合化について」という資料を御覧ください。まず課題といたしまして、先ほどもありましたとおり、西宮中学校については老朽化を迎えておりまして、改築を検討していたというところがございます。そうした中、私ども、区立施設全般の改築・改修を担当するということもありまして、周辺施設の課題も俯瞰してみる必要があるというところがございます。

そうした中、周辺にありますこの宮前図書館につきましても築50年近くたっておりまして、老朽化が課題ということ、今後の対応、改築等の検討が必要になっていたというところがございます。

そうした検討をした結果、(2)にありますとおり、まず図書館と中学校を複合化することによりまして、1つは中学校にとって教育環境の向上につながるのではないかという点。また、図書館につきましても、いわゆる改築をするとすると、その場で建て替えるとなると一旦休館をして、それから新しくオープンするということがありますが、今回のように例えば移転という形になりますと、長期休館のない改築が可能になるという点。こうした効率的・効果的な施設整備が見込めるというところから、今回、西宮中学校の改築については、近隣の宮前図書館の複合化を視野に、検討を進めていくという形で計画をしたところでございます。

今申し上げた取組の狙いというところを、3点補足させていただきます。

1点目は、まず教育環境の向上という点です。この表に2点記載さ

せていただいておりますけれども、地域図書館が併設されることによりまして、図書館の豊富な資料を子どもたち、先生方が授業等で活用することができるのではないかと。あるいは、図書館職員によるレファレンスサービスが、生徒・教員に実施されるといったことが考えられます。

西宮中学校につきましては、資料4にもありますとおり、特色ある教育活動の中に、学校図書館を出ささせていただいているというところ。それは学校図書館の活用実践校として、この間も取組が進められているというところがございます。こうしたこれまでの経験、取組というのが、図書館と複合化することによって、さらに充実が図られるのではないかと考えた次第でございます。

2点目が、地域の拠点となる開かれた学校づくりというところでございます。こちら冒頭、部長の方からご挨拶させていただきましたが、学校というのを生徒の学びの場としてだけではなくて、地域の生涯学習の場となることで、より一層地域に開かれた学校づくりを目指すことができるのではないかと考えております。

また、区民が生涯にわたって豊かに学ぶことができる施設とするとともに、人と人がつながる、そうした「学びのプラットフォーム」を目指していくというところがございます。西宮中学校の目指す学校像の中で地域の核となる学校、地域の理解を共有していくという点にも資するのではないかと考えております。

3点目が、効率的・効果的な施設整備等ということです。こちらはハード面になりますけれども、施設を複合化することによりまして、例えば1つの部屋を双方、学校あるいは図書館の施設で使用することによって、よりスペースを有効活用することができるのではないかと。という点。

あるいは、先ほど申し上げましたように、図書館については長期休館することなくということで、休館によるサービスの低下を防ぐとともに、蔵書を別な場所に保存するとなると、かなり多額なコストもかかるというところも。そうした点が削減できるのではないかと。あるいは、この宮前図書館の跡地について、地域の方々にご利用いただけるような跡地活用をするという点。

こうした学校にとっても、図書館にとっても、また地域の皆様にとってもよりよい施設、学校となることが期待できるのではないかと。ということで、今回、複合化について計画をさせていただいたというところ

ろでございます。

それに当たりましての背景というところで、上段のページになりますが、「区立施設再編整備計画」について簡単に補足をさせていただきます。この「区立施設再編整備計画」というのは、いわゆる公共施設の老朽化問題は杉並区だけではなくて、全国共通の課題というところで、高度経済成長期に集中して建物が建てられましたので、一斉に改築・更新時期を迎えている。ただ、当時と異なりまして、現在少子高齢化ですとか、人口減少等がうたわれておりますので、そうした状況にしっかりと対応しながら課題解決を図る必要があると考えています。

そうした中でポイントとなるのが、安全・安心な施設サービスというようなところと新たな行政ニーズへの対応、さらには持続可能な行政運営の実現。この3点を図るためにこうした計画を立てて、区民の皆様にとってよりよい施設を、より効率的に整備していくというところで、いま取組を進めているところでございます。

そのポイントとして、この矢印のとおり「7つの基本方針」を掲げて取り組んでおります。その中の1つに、「複合化・多機能化の推進」というところがございます。

そこについて少し補足をさせていただきますと、(2)「複合化・多機能化の推進について」の記載のとおり、学校に限らず、施設の改築の際には複合化・多機能化を促進していくという点。

なぜ複合化・多機能化を促進していくのかというところですが、組み合わせる施設相互の機能の補完ですとか、相乗効果を生み出してよりよい施設をつくっていくというような点。さらには、施設整備の効率化という点。そうした点を狙いとして、複合化や多機能化に取り組んでいるというところでございます。

特にポツの3つ目でございますけれども、区立施設の延床面積の半分を占める学校施設ということで、現在、区立施設約84万9,000㎡、東京ドームでいいますと約18個分の面積がありますけれども、このうちの約半分が学校という形になってまいります。そうした学校の改築をしっかりと進めていく中で、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、教育環境との相乗効果を創出しながら、地域コミュニティの核となる開かれた施設づくりを目指すということを考え方としてお示しをしたところでございます。

以上が西宮中学校と宮前図書館の複合化に当たっての狙いと、その

	<p>背景となる「区立施設再編整備計画」の考え方というところでございます。私からは以上です。</p>
<p>中央図書館館長</p>	<p>では、次の8ページ、9ページをお開きください。私は中央図書館館長の原田でございます。</p> <p>宮前図書館は地元の図書館ですので、皆さんよくご存じかもしれませんが、一応再確認ということで、概要を報告いたします。</p> <p>開設は昭和47年11月1日でございます。図書館は区内で13館ありますが、3番目に古い図書館でございます。蔵書数は、令和4年3月現在で約12万冊。</p> <p>貸出でございますが、個人貸出につきましては、貸出人数11万4,000人。貸出冊数42万6,000冊。ちなみに、区内には13図書館がありまして、1つは中央図書館、ほかの12は地域館と言うのですが、地域館の中で最も貸出人数と貸出冊数が多いのが宮前図書館でございます。団体貸出は、登録団体数97団体、貸出冊数1万6,000冊でございます。こちらは地域館の中で、3番目に多い実績でございます。</p> <p>図書館は各13館でそれぞれ担当分野を決めていまして、宮前図書館につきましては明治以前の日本文学の書籍を中心に収集しています。</p> <p>建物でございます。鉄筋コンクリート造り、地下1階地上3階。ただ、地下1階は機械室でございますので、実際に使っていますのは1階、2階、3階になります。</p> <p>延べ面積は敷地が1,691㎡で、建物自体は1,974㎡あります。ただし、当時はこの約1,900㎡のものを建てられましたが、現状で例えばここに図書館を立て直した場合、1,900㎡の建物は建てられません。最大で敷地面積も約1,600㎡の建物しか建設することができません。</p> <p>こちらの図書館は指定管理者制度に基づく指定管理者、民間の事業者が運営してございます。TRC・大星すぎなみグループという企業体がこちらの図書館を運営してございます。</p> <p>宮前図書館の現状でございます。</p> <p>まず課題としては、3階建てですけれども、エレベーターがなく、バリアフリーになっておりませんので、2階の一般書架、参考資料室、3階の読書室、講座室、あと半地下のトイレに行くには階段しかないということでございます。</p> <p>3階に読書室があるのですが、Wi-Fi機能が設置されていません。また、もともと電源のある机はなかったのですが、現在、図書館の方で8席ほど電源を設置しました。もっとパソコンを使いたい、Wi-</p>

	<p>F i を使った読書や勉強をしたいという希望が寄せられております。</p> <p>あと中 2 階は元売店だったのですが、踊り場を活用したスペースに資料の展示等をしております。</p> <p>最後に、調べ学習という、児童・生徒さんが授業で副教材として使用する図書資料の貸出を行う事業でございますが、これも地域の図書館の中で最も多い数字となっております。</p> <p>次の 9 ページが、この施設の平面図でございます。1 階が、主に児童図書と新聞雑誌コーナー。2 階が一般図書コーナー、あと参考資料室がございます。3 階は社会人と学生用に分かれた読書室、それと保存書庫、講座室がございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>続きまして、おめくりいただいて 10 ページ目からです。「今後の進め方イメージ」ということで、今回第 1 回でございますので、進め方についてはあくまでイメージとして捉えていただければと思います。</p> <p>今回の懇談会の目的については、資料 2 もお配りしてはいますが、運営要綱第 2 条において所掌範囲というか、改築に当たっての意見を聞くことを目的としており、(1) として改築における基本的な方針に関する事、それから (2) として、その他改築の基本設計に反映する必要な事項に関する事という 2 点となっております。</p> <p>具体的な進め方といたしましては、今年度、令和 4 年度に「改築基本計画」で、改築の基本的な方針を定めていきたいと思っております。改築基本方針というのは、具体的には例えば今回の改築に当たって目指す学校像であるとか図書館像、あるいは改築に当たっての基本的な考え方。今回ですと、もし複合化ということになれば、学校と図書館との関係性といったようなところを考え方として整理していければいいかなと思っております。</p> <p>それから、改築規模ということで、学校と図書館で整備する諸室や面積等、それから配置計画のイメージなんかもある程度つくっていければいいかなというふうに思っております。</p> <p>今年度そこまで「基本計画」ということで固めましたら、来年度から具体的な設計に入っていきます。設計はおおむね 2 年間ございますけれども、前半となる令和 5 年度が基本設計ということで、主立った配置・平面計画等、あと工事の進め方、仮設校舎を造るとか造らないとか、そういった大まかなところは来年度の基本設計の中でしっかり定めていきたいと思っております。</p>

	<p>今年度の当面の進め方ですけれども、表の方に第2回以降の懇談会の予定も書かせていただきました。進め方のイメージとしては、今日皆さんの色々なご意見を頂く中で、次回は改築基本方針のたたき台で、どういった学校や図書館を目指していくかということを議論した上で、様々な事例なんかもご紹介して、図書館と学校の関係はどういったものがあるのかといったところも皆さんで共有化を図りながら、イメージを持っていただいて議論を深めていきたいと思っています。</p> <p>第3回はできれば施設見学ということで、コロナ禍ではありますけれども、どこかの施設、特に学校と図書館が複合化している施設に事例研究として見学に行きたいと思っています。</p> <p>第4回、第5回あたりで具体的な配置の計画、スタディを皆さんにお示ししながら、具体的なプランの議論を少し進めていって、「改築基本計画」を年末、もしくは年度内ぐらいには「改築基本計画」を固めて、保護者の方々や地域の方々に何らか説明できる機会を設けていきたいと思っています。</p> <p>また、本懇談会は来年度、基本設計の1年間についても開催いたします。来年度については4回程度開催して、配置や平面計画の具体的なところを、皆さんのご意見を頂きながら設計を進めていきたいと思っています。したがって、本懇談会についてはおおむね2年間、足かけ2年間ということで、ぜひお付き合いいただければと思います。</p> <p>続きまして、11ページの「想定される改築スケジュール」でございます。こちらについてはまだ配置計画ですとか具体的なものが決まっておりませんので、あくまで現位置で改築する場合の標準的なスケジュールでいうと、このような形になることが多いということでご理解いただければと思います。</p> <p>令和4年度、今年度は「改築基本計画」を策定し、令和5年度、6年度の2か年で、基本設計、実施設計ということで進めてまいります。</p> <p>仮設校舎が必要ということになりますと、令和6年度の途中ぐらいから仮設校舎を建てて、一部既存校舎の解体工事に入っております。</p> <p>令和7年度の後半頃から、2年強ぐらいで新校舎の建設工事をいたしまして、令和10年度に新校舎が開校。同時に環境整備、仮設校舎の後に校庭等、グラウンドを整備するのが令和10年度という形で、今後については考えてございます。</p> <p>資料3の説明は以上でございます。</p>
進行役	ありがとうございました。この後、西宮中学校の特色の説明を私が出

	<p>ることになっていて、その後に意見交換の時間を設けていますが、現時点においてただいまの説明や資料について、委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p> <p>急で、なかなか出づらいかもしれませんが、率直に今のお話を聞いて何かご質問でも結構ですし、気になった点でも結構ですから、何かございましたら、時計回りで順番におっしゃってください。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございます。西宮中学校、それから宮前図書館をどのような考え方で改築するかという基本的な方向をお聞きできて、大変よかったですと思います。</p> <p>これから学校は地域の防災のために、あるいは社会教育のために活用していかなければいけないというのは当然で、学校としても地域の教育力を借りて、子どもたちの学びをより深めていくのは必要だと思っています。</p> <p>ただ、一番心配なのは、西宮中学校の校地が、例えば先ほど出た高井戸中学校より 3,000 m²狭いという点です。そういう中に、学校機能を維持して図書館まで十分入れた建物を建てるのが可能なのか。可能だからやっていると思いますが、学校としては子どもたちの安全・安心をいろんな面で考えなければいけない。</p> <p>例えば今、本校の校庭は、125mのトラックしか取れていません。中学生が一生懸命力を発揮すると、少なくとも 150m以上はないと、本当に転んでけがをすることがあります。体育館以外で、テニスコートとかあるいはバスケットコート、野球とかサッカーの練習とかでぶつからないような形で確保した上で、できたら 150mのトラックをそろえた上に、学校それから図書館ができればいいなと思っています。</p> <p>また、学校にしても、何クラスかで設計されると思いますが、今の中学校は 40 人学級、小学校は今 35 人学級。だいぶ前の計画では、中学校も本当は 35 人学級になっていたはずですが、予算がないということで小学校 2 年までやって中止されて、現在小学校は 35 人ということでやっています。</p> <p>ただ、杉並区は師範館で小学生の教員を養成したこともあって、他の区市町村と比べると早い時期から小学校は 35 人学級になっていました。これからはできたら 30 人学級とか、特に教員の働き方改革が議論されて、子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革だということで、そう考えるともう少しクラスの人数を減らせば、小学校はできたら 25 人ぐらい、中学校も 30 人以下ぐらいになると本当は理想ですけ</p>

	<p>れども、そういうことも少し展望して。</p> <p>先ほども、70年後の学校あるいは社会状況も判断しながら計画していくというお話もありましたけれども、その過程の中の教育の充実を考えたときに、その辺のところも考慮して考えていってほしいと思います。</p> <p>あと不登校の問題とか、いろいろありますので、そういう子どもたちに対応するための部屋とか、特別支援が必要な子が今は多くなっていますので、そういう子に対する部屋がほしいです。</p> <p>それから、今も少人数授業をやっていますので、少人数授業の教室がある程度確保しなければいけません。その辺のところをきちんと学校と話し合って、教室も展望を持った、将来を見据えたこれからの教育を見て、ぜひ杉並区の理想的な学校、それから図書館をつくってほしいというのが非常に強い要望です。</p> <p>長くなりましたけれども、以上です。</p>
進行役	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>後でもう一回そういう時間をつくりますけれども、今のようなことでも結構ですし、お感じになったことをどんどんおっしゃっていただければと思います。</p> <p>次の方、お願いします。</p>
委員	<p>今、他の委員の方がおっしゃったお話、私も全く同じことをずっと思っていました。</p> <p>実は平成13年のときの耐震工事というのは、丸々私は現役の保護者であったので関わってきたというより、約3年間、その校舎を建て替えるに当たって、どっぷりと当事者の一人として、いろいろな調査をさせていただきました。</p> <p>そこで、この建物は2階ですが、もともとは3階でした。ですが、いろんな地域の周りを見たときに、建築法などいろいろな意味で、ここは3階を建てられないという事実がありました。校舎を増やしていくということがあり、そのとき建築法を勉強しました。</p> <p>実は生徒人数をここで見ていただくと分かるように、400人のときもありました。平成10年のときの話は「これから西宮中学校はずっと9クラスだから、クラス数が増えないので」と言って、私たちが南館と呼んでいた教室を潰して建てましたが、実際はどんどん生徒数が増えていって、ここ20年ずっと11、12クラス。そのとき役所の人たちが「西宮中学校は将来絶対に9クラスですから」とおっしゃったのをいまだに覚</p>

えておりますが、見事にその予測を裏切りました。ずっと、本当にここは学習内容も全体的にいろいろなところで充実しているの、生徒たちをより活動させたいという部分で言ったら、充実した校舎は必要だと思うのです。

特別室も本当に古くて、その当時もよく言われましたが、何でこんな何十年ももったのかと。精神的に生活環境が落ち着いた地域なので、子どもたちが校舎を傷めるということがなかったため、もったのではないかという話が、その当時もありました。

役所が考えているように、学習能力も高めていくというところは本当にそのとおりで、あと図書館も改めて利用させていただいたのですが、こんなに地域が利用している図書館が中学校ともし一緒になったときに、理想はすごくいいと思います。中学校も活用していきたいし、地域の方たちも開かれた学校の中にある立派な図書館を利用していく。

実際に中央図書館が土日はすごい人で、きれいになったことによって利用者が増えています。あれだけたくさんの方が集まる図書館ですので、私もそういうものがこの近くにあったら本当に利用したいなとつくづく思います。

いろんなことを思ったら、理想としてはあれもこれもどれも欲しいなという部分がありますが、先ほど他の委員の方がおっしゃったように、この敷地内にそういうことが可能かどうか。今いろいろお話を聞いて、ここにビルディングを建てれば、上が図書館で下が学校で、地域の人たちもエレベーターで上に行き、子どもたちも下で学習をする。うちは文武両道ですので、運動も盛んです。そういう声を聞きながら、地域を活性化させる。それが実は私のもう1つやっているライフワークの地域教育の部分に当たるので、とても理想的な建物をここに思い描くのですが、果たしてこの敷地の中にそういうものができるかどうかが一番心配なところで、その辺りを踏まえた上で、今回は図書館と一緒になるということをお考えになっているのか。

図書館の敷地、実は図書館がどういう成り行きであそこにできたということも、その当時調べました。以前はあの近くに本当は西宮中学校ができる予定でしたが、こちらの敷地になったという事情も知っています。そういうもろもろ、あそこの敷地を今後も、例えば西宮中学校の校庭に開放することも可能になってくるのかということと、本当にこの地域を教育環境も含めて充実していきたいなと思っているときに、それらが現実的に可能かどうか。

	<p>言っている理想はとてもよく分かりますが、現実的にいろんな法律が変わっていく中で、それらができるといふ不安がとてもあります。その辺りを踏まえた上でやっていかないと、ただスリム化して、経費を削減してというところで複合化というものはどうだろうかというのとはとても考えるところなので、その辺りは現実の理想に結びつけられる方向を具体的に調べた資料も提示していただくとありがたいかなと思っています。以上です。</p>
進行役	ご質問ではなくて、要望でよろしいでしょうか。
委員	そうですね。はい。
進行役	今のところまでで、何かご回答されることはありますか。
学校整備担当部長	<p>大きなところは、私の方から少しお話をしたいと思います。</p> <p>今、2名の委員の方からお話を頂いた一番のポイントは、キャパシティの問題。先ほど私も申し上げた、高井戸中学校とは違うのではないかというお話もあります。</p> <p>この間、どういう形にすれば、この西宮中学校の敷地の中に具体的な校舎と図書館の施設も入るのかというシミュレーションも、今始めています。正直に申し上げますと、そのままの宮前図書館のキャパシティをこっちに持ってきて、どうやって入れようかというのはなかなか難しいです。だから、図書館は図書館のとして、今後図書館のありようみたいなものにいろいろと言及して、皆さんのご意見も頂きながら、イメージしていく必要があるかなとは思っています。</p> <p>それともう1つは、中学校の建物のありようなんかも、さっき委員の方がおっしゃったように、これからの教育のありようにしっかりマッチしていかなければいけないということであると、ある程度建て方なんかもその時代、時代に合わせたフレキシビリティみたいなものは持っていなければいけないかなと。今ほかの中学校を改築しており、そこでも同じような説明をさせていただいています。</p> <p>教育のありようが10年ぐらいなら分かるかもしれないけれども、10年で壊す学校なんてないので、その先を見据えて、そこを想像してイメージーションを働かせながら、ある程度どういう形になっても対応できるような形。ともすれば、学校の機能自体も、これから建てる学校というのは、全てこのままの学校のありようで、30年、40年行くとは限らないかもしれないじゃないですか。そういったことも含めて、今、教育委員会の方でも、いわゆる学校の施設建設と関連する部署といろいろ議論しながら考えているところです。</p>

	<p>何よりも一番の問題はキャパシティだなということは我々も気がついていますし、そのシミュレーションも冒頭申し上げたようにやっています。法律の中で、どういう形でこの問題をクリアしていくのか。確かに委員の方がおっしゃられたように、この用途地域の宮前の地域にビルは建てられません。</p> <p>ただ、そういった中でどういう工夫があるのかということも含めて、例えばフロアを増やすために、まだこれからいろいろな設計を試みなければ分かりませんが、地下が活用できないとか、少なくとも複合化するに当たっては、これまでのイメージだとかそういったありようから少し考えを膨らませたところで我々も提案したいと思っていますし、皆さんからもご意見を頂きたいと思っています。</p> <p>何よりも子どもたちのため、地域のため、そういった学校にしていく、そういった図書館にしていく。その思いは皆さんと変わらないと思っています。</p> <p>大きい話になりましたけれども、細かいところで何か補足があればつけてください。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>ご意見をありがとうございます。</p> <p>先ほど委員の方からも頂きましたけれども、学校としての教育環境を確保した上で図書館という話かなと思いますので、今頂いたご意見はごもっともかなと思っています。</p> <p>部長からもありましたように、具体的な配置のシミュレーションですとか、今の法規制に当たってどういう校舎ができるか。結果として、建物は建てられるかもしれないですけども、校庭がどれぐらいになるかというところがポイントになるのかなと思っています。</p> <p>先ほど 10 ページの「今後の進め方イメージ」のところでも説明させていただきましたけれども、いろいろそういうスタディなんか我々の方でさせていただいていますので、遅くとも第 4 回ぐらいのときには、しっかりと具体的に幾つかの校舎配置のパターンをお示しした上でどういった配置になるのか、グラウンドの面積はどれぐらい取れるのかですとか、そういったところについては具体的にお示ししていけるように今、準備を進めております。</p> <p>それから 40 人学級とか、そういったところもどうなのかというお話とか、あと学級数、生徒数の予測などについても先ほどご意見がありましたけれども、今、各校、長期的には減少傾向があるものの、また最近では微増してきており、これについては令和 7 年度ぐらいをピークに、年</p>

	<p>少人口についてはまた減少という予測にはなっています。</p> <p>今、ご指摘のところですか、あと改築するとまた若干人数が増えてきたり、人気が出たりというところもあったりしますので、そういった傾向も踏まえて、施設規模についてはまた改めて次回以降の懇談会でお示しをしていって、クラス数がすぐに足りなくなったりすることがないような施設の計画なども、案としてお示ししていきたいと思っております。</p>
中央図書館館長	<p>図書館についても、先ほどご説明したとおり、延べ約2,000平米の面積があり、地域館の中では一番大きい面積です。ご存じのとおり、3階部分には、他の図書館にはない社会人用と学生用の読書室があります。</p> <p>というところもありまして、一番直近で開設した図書館は、令和3年に元永福体育館の跡地に開設した永福図書館で、地域コミュニティ施設との合築でしたが、図書館部分の面積は約1,000平米強です。</p> <p>先ほど学校整備担当部長からお話ししましたけれども、図書館をこのままの形で、全く同じものをここに設置するということではございません。図書館のどのような機能が必要なのかも踏まえて、皆さんと議論していきたいと思っております。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>今のところ学校を中心にお話がありましたが、図書館の方で何かご質問とかご意見とかございますか。</p> <p>順番に。では、次の方。お願いします。</p>
委員	<p>宮前図書館は、私もですが、この貸出冊数に物すごく貢献しているぐらい使っています。今日も午前中、図書館のお部屋を全部見てきました。どの部屋も明るくて、きれいにしていて、とてもいい図書館だなと思っております。</p> <p>この8ページの「宮前図書館の概要・状況」を拝見しますと、宮前図書館の現状に納得できるような、いろいろ改善しなければいけない点がありますが、このページには宮前図書館さんがやっている年間事業計画というのがあまり書かれていません。</p> <p>高井戸第二小学校地域子育てネットワーク連絡会という会が地域の中にあり、私はこのメンバーですし、今日いらっしゃっている中の何名かの方はそうだと思います。</p> <p>宮前図書館の今の館長さんが、年間事業計画を持ってきてくれて、各団体が自分の今年度の事業計画を交換し合うような会議があります。そのときに館長さんが持ってきてくださった年間事業計画は、どの月にも</p>

赤ちゃんからお年寄りまでが学習できる、また楽しめる、季節を感じるようなものが満載です。コロナもあって、こちらは主に3階の講座室を利用して行われています。

例えば隔月で、図書館で、親子でリトミックをやっているとご存じない方も多いと思いますが、そういうこともしております。フラワーアレンジメント講座もやっておりますし、あと何より、定例の図書館でお話し会というのは普通ですが、赤ちゃんタイムというのを設けて、月に2回、土曜日の午前中を使って、この日は赤ちゃんを連れた人もどうぞお気軽にということ、ベビーカーが図書館の入り口に並ぶというぐらい、とても盛況です。今はコロナで定員が6組ですが、いつもいっぱいです。

そちらに民生委員の方もお手伝いに行ってください、赤ちゃんを抱いたお父さんやお母さんが上の子を見られないときに、少し目をかけてあげている。または教育の相談事があったら話してねとか、そういうとてもいい活動を図書館の中でやっているということを地域の皆様方で知らない方も多いのではないのでしょうか。

本の貸し借りだけであれば、高井戸地域区民センターにコーナーがありますね。もちろんあそこもいろんないい本を置いていますが、図書館というのは、さっき中村部長がおっしゃった地域の文化の核となる、プラットフォームそのものであると思っています。

今の宮前図書館の機能をどのぐらい削れるのかということになっていくかと思えますけれども、地下なんかもつくって、人が寄り集まるスペースを図書館の中につくって、これまでされていた活動を継続していけるような図書館でないと、ある意味……。

7ページに「1つの部屋を双方の施設で使用することでスペースを有効活用」と書いてありますが、中学生のいる朝から夕方までと、市民とか区民の人が使う朝から夕方、どんなふうに図書館が双方でうまく使えるのか、私にとってはまだ想像ができません。

本当に中学の中に図書館をつくるのは無理矢理でないような、そんなふうに納得させていただけるような計画、シミュレーションをなさっているとおっしゃいましたが、もう少し早い段階でそれを示していただかないと、どんどん回が進んでいってしまうと、計画どおりのことが実現していくので、口を挟む間もないのかなと。なので、できるだけ早くにそういうシミュレーションを示していただきたいですし、10月に見学会に行く予定があるとおっしゃっていましたね。こちらは今時点でどこ

	<p>の図書館、学校を考えていらっしゃるのか。私もそういうところを見に行けば、少しは宮前図書館と西宮中学校でこういうふうにできたらいいとか、もう少し不安を感じずにこの会に参加できると思います。</p>
進行役	<p>回答はいかがですか。</p>
中央図書館館長	<p>図書館の方では、今、委員の方がおっしゃったように、本を貸し出すだけでなく……。</p>
進行役	<p>ごめんなさい、見学会はどこになるのかという質問に対しては、いかがでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>見に行くところはまだ全然決まっておられませんので、今後皆さんのご意見も踏まえて、どういったところを見に行くかというのは検討していきたいと思っています。</p> <p>中学校とスペースの兼用みたいなこともイメージがつかないというお話もありましたけれども、いろんなやり方をしている学校はたくさんあるみたいなので、そういったところを幾つか回り、あるいは行けなくても事例紹介みたいな形で、次回からシェアしていければいいのかなと思っています。</p>
進行役	<p>司会の進め方がよくなくて、時間が随分過ぎてしまいました。この後、お一人お一人発言していただく機会を取りたいと思います。今の段階ではなるべく簡潔に言っていただき、後で発言の機会をつくりたいと思います。</p> <p>次の方。お願いします。</p>
委員	<p>西宮中学校と宮前図書館の複合化について、(3)の「教育環境の向上」というところで、「図書館の豊富な資料を生徒・教員が授業等で活用」「生徒・教員への図書館職員によるレファレンスサービスの実施」ということになっていますが、これを読むと少し不安に思ったのは、中学校内の図書館、図書室を廃止してしまうのかということです。</p> <p>実際に高井戸中学校は高井戸図書館とつながっておりますけれども、あれは長い間、開かずの扉になっていまして、扉が開いたのはここ数年のことで、なかなか難しいことです。必ず中学校内には図書館を残していただきたいなと思ひまして。</p>
学校整備担当部長	<p>私も図書館のことはなかなか詳しくないものですから、勉強しました。法律で、学校の中に図書館を設置しなければいけないとなっています。もちろん学校図書館の役割と、一般の人が使う図書館の役割は違いますから、学校の図書館というのは、高井戸のようにつけるかつかないかは別にして、当然設けていくことは必要ではないかと。</p>

	<p>その配置なんかも含めて、しっかりと西宮中学校の学生たちが自分たちの図書館も使えるし、ともすれば大人の図書館も簡単に使えるという形にしていきたい。それはベースにある考え方と思っています。安心してください。</p>
進行役	<p>セキュリティの関係もありますから、十分検討していく必要があると思います。</p> <p>先に進めさせていただきます。次の方。お願いします。</p>
委員	<p>第3回、10月に施設見学とありますけれども、どこを想定しているのか。</p> <p>実は調布にいるときに、調布って割合図書館が充実してしまっていて、学校のそばに必ず図書館があるというところで、でも学校そのものには図書館がまだ充実していませんでした。ちょうど研究する年でしたから、役所の方と相談して、本当に理想的な図書館をつくりたいと。そのときに先生たちが見に行ったのは横浜と慶應の幼稚舎。20年も前ですが、当時日本で一番進んでいたところで、100枚ぐらい写真を撮って、職員室に飾って、本当に理想的な学校図書館をつくらうということで、当時は壁を塗って終わりというレベルでしたけれども、役所の中にもそれを非常に理解してくれる方がいまして、5,000万かけてガラス張りの図書室と、子どもたちが自分で学習する学習室、そこには4万からのいわゆる資料的なものを集めた部屋、それから低学年にはいわゆる物語的な、3部屋をつくっていただきました。</p> <p>そういうイメージとして、これからの時代に合った図書館をつくる必要があるかなと。それにはどこに見学に行くのか、そういうものを描いているのかを聞きたいです。</p> <p>あと、前に教育長だった方と一緒にフィンランドへ行ったときに、本当にいろんな国から来ていますので、いろんな言語の本が廊下にも置いてあって、すぐ学べるような環境になっていました。福祉の国ですから、日本と比べて明らかに手厚い指導をしていました。でも、今は入学前の1年間の指導が生きていますので、ぜひ新しい発想の学校づくりにしてほしいです。今、松溪中学校で外国人を教えていますけれども、いろんな空間があって、広々とした部屋で二人きりで勉強ができ、雨の日は絶対に困らない部屋があるとか、いい環境だなと思っています。そういう空間ができたらいいなという夢を描いています。</p> <p>また、見学会はどこに行くのでしょうか。</p>

<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>先ほども申しあげましたが、まだ決まってございません。 今回は事例研究を集める中で、先方のご都合とか、コロナ禍という状況もありますので、日程調整した上で候補を絞っていきたいと思っています。今のご意見も参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ぜひ新しいところに見学に行きたいです。</p>
<p>進行役</p>	<p>よろしいですか。どうもありがとうございます。 すみません、進行が悪くてどんどん時間が過ぎてしまいまして、先に取りあえず進ませていただければと思います。後でもう一回、意見交換の時間を取ります。 続きまして、次第の6「西宮中学校の特色等について」に移ります。先ほど事務局の方から、資料3の中で「次回以降、目指す学校像をまとめた改築基本方針を議論していく予定」との説明がございました。そこでその参考としていただくために、今日は校長である私から西宮中学校の特色等について、少しでもお時間を取ってお話しさせていただきたいと思います。 資料の中に、「学校要覧」と「経営計画」というものがございます。まずは「学校要覧」を御覧ください。時間も押しておりますので、すぐ早口で、要点をかいつまんでお話をしたいと思います。 まず、「学校要覧」の表紙にあります3枚の写真ですが、西宮中学校は学校行事を大事にしております、その中核をなすのが西宮祭と呼ばれる5月の体育大会、杉並公会堂でやっている10月の音楽会、それから3月の展示会、この3つが行事の核となっています。もちろんそれぞれ各学年で宿泊行事とか、職場体験とか、いろんな行事があり、この3つの全校でやる行事を非常に大事にしているところです。 1枚めくっていただいて、見開きのページを見ていただければと思います。西宮中学校の教育を一言で言うと、何を一番大事にしているかと言うと、一番上の青字のところ。「自主・自律の教育」。 先ほど来お話がありましたけれども、この地域は非常に教育力が高く、子どもたちの学ぶ意識も高いです。そうしたことから、学校としては子どもたちの自分の考えとか判断とか、そういうものを大事にしているということで、昔から「自主・自律の教育」というものを掲げております。 ですから、例えば服装もご案内のとおり私服ですけれども、きちんとTPOをわきまえるとか、規則で決まっているからとか、そういうことではなくて、なぜそういうことをしなければいけないのか、その都度何</p>

が大事なのかを考えさせていく教育をまず中心に据えています。

その下に学校の教育目標がございいますが、いわゆる「知・徳・体」です。これをバランスよく育む。今の学習指導要領にも書かれていますけれども、生きる力と呼ばれている「知・徳・体」に関わる力をバランスよく育てていくことを目標としていますが、西宮中学校は一番に「徳」を置いています。ですから、「徳・知・体」。当然「徳」の中にはいろいろなものが含まれますけれども、最終的に、一言で申し上げると人権尊重です。そのような教育を大事にしている。そこから派生して、その下に書いてあるような教育を実践しているということです。詳しく説明していると時間がなくなりますので後はご覧ください。

左側を見ていただければと思いますが、主な学校行事は先ほど言った三大行事を中心に、様々なことをやっております。

一番下です。先ほどお話がありましたように、現段階、今年はクラス数が10クラス。去年は11クラスありましたが、今年は10クラスになっています。

ただ、うれしいことに、今の1年生は学年在籍が120人を超えておりますので、今後大きく減らない限りはこのまま、4クラスのまま3年生まで行きます。そうすると、来年度、ある程度の数が入ってくると、また11クラスに回復するのではないかと思います。

ちょうどその120というのが境目になっておりまして、ここ2年ぐらいは、1年のときは4クラスでも、2年になるときに3クラスになってしまう。なぜかという、在籍が105から120の間で入ってくるからです。中1のときだけは35人学級が認められているため、105人以上になると4クラスになりますが、2年生になるときは40人学級に戻ってしまいますので、そこでせっかく4クラスだったのが3クラスになる。

3クラスになると何が困るかという、教員数が減ります。それから、学年全部の学級が1年のときは1クラス30人強だったのが、2年生になると急に1クラスが40人近くになってしまいます。特に教室があまり広くないので、びっしり子どもがその中にすし詰めのような状況になります。ですからこの120というのが、非常に大きな数字になります。

一方、先ほどもお話がありましたけれども、従来のクラス単位で動く、クラス単位で1つの教室に入ることではなくて、フレキシブルに教室を使っていくことが求められます。学級を分割した少人数指導に対応する必要があります。さらに今する話ではないのかもしれませんが、大人数が集まれる部屋は体育館とここ多目的室しかありません。

ここに1学年が入りますと、もうすし詰め状態です。だから、3つの学年が同時に保護者会とか開くことができないですね。現在はそのような状況がある中でうまく工夫し、時間をずらしたり、ICTを使ったりしてやっているという状況です。

右側に行きまして、そこにあるような部活動で、緩い部活動から都大会、その上の大会目指していくような部活動もあります。先ほどお褒めを頂きましたけれども、文武両道が実現し、家庭や地域の教育力のおかげで、平均値でいえば非常に学力が高いです。ただ、勉強だけやっているかという、そうではなくて、ある程度学力を取る子がほかの分野でもしっかり活躍しているような状況です。

今年は、女子バスケットボール部が都大会に出ました。それから、学校外で活動していることが多い生徒ではありますが、テニス部では関東大会、さらには、この間の日曜日に決まったのですが、全校大会に出る生徒もいます。そのような文武両道の学校です。

その下に書いてある「特色ある教育活動」の中で、西宮中学校は図書室を非常に大事にしています。今年度は実践校にはなっていないのですが、2年ぐらい前までは実践校をやっていたので、非常に様々な活動をやっておりました。その当時はコロナ禍の影響もほとんどなかったので、小学校とも連携して色々なことをやっておりました。現在はコロナ禍のため大々的に外部と連携した取組をすることはできなくなったものの、校内の図書室の活動は非常に充実しています。なぜかという、司書の方が非常に優秀です。図書室は授業を行う場所としても盛んに活用しています。

学校によっては、放課後の貸出のとき、昼休みしか行かないというところもあるのですが、本校は授業で図書室を非常に使っています。ですから、先ほどのお話に関わってくるとおもいますが、決して図書室を使わない学校ではありませんので、それは覚えておいていただければと思います。

最終ページは、今までの沿革や教員、正規教員が記載されています。教員は大体20名強くらいですかね。そのほかに講師とか、事務職員などがいるので、教育に携わる人間が大体30人ぐらいいます。一番下が、こちらにもいらっしゃいますけれども、学校運営協議会の方々です。

時間がなかったので、あと少しだけお話しします。次の「学校経営計画」は2枚ステープレ留めになっています。これも長々と説明している時間はありませんが、先ほども少しお話がありましたけれども、実は西宮

中学校は学校の創立からいうと一番新しい、区内で23番目の学校です。しかし、先ほど委員の方からもお話がありまして、校舎の一番古いところは60年以上たっています。ですから、相当ガタがきていて、本当に改築していただけることを本当にうれしく思っています。

ちょうど60周年の節目を2年前に迎えて、新たな10年に向かっていま歩み出しているところで、子どもたちの意識も非常に高いです。子どもたちは西宮中学校だという誇りを非常に強く持っている、私は信じています。その中心は、先ほど申し上げた「自主・自律」です。ですから、受験のための面接練習で「あなたの学校の特色は」と聞くと、必ず子どもたちは「自主・自律です」と答えます。

下線部の学校経営のテーマですが、先ほど話が少し出てきましたが、「教育ビジョン2022」に書いてある、生涯をかけて教育に携わっていく、それから成長していく、そして考え続けていく、そういうものを大事にするような教育を展開したいと思っています。

それから、下の太字のところですが、今は予測困難な時代ということなので、ただ知識を覚えてテストができれば幸せな人生が送れるかという、そういうことではないので、先ほど来言っていますけれども、いろんな状況に出くわしても自分の頭で考えて、それを乗り越えていけるような、そして積極的なチャレンジ精神を持って取り組んでいけるような子どもたちを育てていきたいと思っています。

あと先ほど申し上げたとおり、次の2ページ目は「徳・知・体」のことが書かれています。先ほど「徳」は大事にしているとか、学力は高いという話をしましたが、全員が全員そうではありませんし、いろんな問題を抱えている生徒もいます。不登校の生徒もいます。そういう生徒が置いてきぼりになったりとか、蚊帳の外になったりすることは絶対にあってはならないと思いますので、そういう生徒たちの居場所をつくったり、例え少人数であってもしっかり目を向けていこうと思っています。

それでさっきの話になりますが、多様なニーズのある子たちを見る部屋がありません。いろんな部屋で工面して、場所を見つけるような状況です。大きい部屋も必要ですが、小さい部屋も、もしくは小さい部屋に転用できるようなスペースもあるといいかなと思います。

次の話ですが、今は何ととってもGIGAスクール構想の中でICTの活用がどんどん進んでいます。教員も非常にこの取組を進めておりますので、太字のところにありますけれども、今後ますますこの傾向は強まっていくと思いますし、我々は研さんを進めているところです。

隣のページに行きまして、ICTの話の下の方にまた太字になっているところがあります。ESD、SDGs、学習指導要領でも持続可能な社会の基盤をつくっていく子どもたちの基盤をつくっていく、そういう子どもたちを育成することを大事していますので、本校でもそれを非常に重視しているところです。

となると、やはりフレキシブルにいろんなことを考えたり、いろんな集団をつくったり、いろんな変化する集団の中で子どもたちが物を考えていくことが求められます。ですから、クラスを超えたような教育活動が必要になってくる、体験活動が必要になってきますので、そういうところもご理解いただくとありがたいなと思います。

最終ページです。最後の方には安全な学校ということが書いてありますので、先ほど言いたいじめとか不登校とか、そういうことを未然に防ぐためにSOSを出すような教育も進めているのですが、もう1つここに書かれているのは防災教育です。

今日は地域の防災拠点としての運営を進めていただいている委員の方がご欠席されていますけれども、防災という観点でも非常に使いづらいです。我々は教育者ですから、まず子どもたちの安全、いざというときに子どもたちを安全に避難させて、場合によってはここでしばらく待機させたりしなければいけないのですが、学校は地域の方の防災拠点にもなりますので、そういうことにも対応していかなければいけないと思います。子どもたち自身にもお客さんではなく、地域防災の中心になっていかなければいけないという話をしていますので、そういうことにもフレキシブルに使える学校になればいいなと思っています。

急ぎましたけれども、私からは以上でございます。

それでは、続きまして、次第の7にあります「意見交換」に移らせていただきたいと思います。先ほど次第の5で、事務局から区として改築における基本的な考え方や、懇談会の予定などについてもご説明がございました。既に、ご意見やご質問をしていただいた方もいます。また、ただいま次第5で、私から西宮中学校の特色も説明させていただきました。

これらを通じて、先ほどのことでも結構ですが、ご意見やご質問でも構いませんし、今の学校や図書館のこういうところを大事にしてほしい、先ほども一部ご意見を頂きましたけれども、今回の改築でこうした点を期待したい、一部先ほどご意見を頂いたようなことでも構いませんので、委員の皆様から順に一言ずつ頂ければと思います。特にないよう

	<p>でしたら、「特にない」でも結構でございます。</p> <p>では、席次に従ってお話を頂こうと思います。なお、学識経験者の方には一番最後にご意見を賜りたいと思います。</p> <p>それでは、また時計回りでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>いろいろな意見があり、すごく参考になりました。他の委員の方がおっしゃっているように、本当に生徒たちはいろんな状況で、今年は10学級ですけれども、去年までは11学級あって、少人数制になると部屋がなくて、いろんな部屋を使っています。5分間しか移動がないので、すごく移動にも時間がかかったりとかしている状況でした。なので、いろんな活用ができる部屋が必要です。</p> <p>新指導要領でもそうですけれども、対話の中で進めていくという中で、1学年が集える部屋というのが多目的室だと少し狭いので、もっとフレキシブルに使える部屋がくれたらいいなと思うのと、日照権の問題で、果たして何階建てまで行けるのかなというのとは一番気にかかっています。</p> <p>その中で図書館も入れて、生徒たちの活動の場も確保してとなると、地下に場所をつくるですとか、あと最近の改修・改築のことで言われているプールの在り方、その辺りも、プールをなくして図書館を入れるとなると、生徒たちの活動の場というのが果たして受け入れられるかどうかというのもあると思います。</p> <p>防災という意味でも、プールがあることで震災のときに使えるということもありますので、もしそういった検討をするのであれば、校庭の下に貯水槽をつくるですとか、これができなければこうするしかないというような、いろんな方法が多分あると思うのですが、そこをうまく、本当にみんなが納得できる場所がくれたらいいなと思います。</p> <p>あと1つ、もちろん80年先まで活用できる学校ですけれども、改築の間、通う子どもたちはいるので、その子たちが不自由のないように、部活動ですとか授業とかができる場所をしっかりと確保していただきたいなと思います。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>先ほど発言させていただいたので、2点だけ。</p> <p>1点目は、もう言う必要もないかなと思うのですが、公共施設の図書館とか学校が新しくなると、その地域に住みたいという人も多くなったりして、特に学校なんかは入学とか、あるいは転入生が多くなります。だから、予定したよりクラスが増えてしまって、特別教室を普通教室に</p>

	<p>して授業をしなければいけなくなったような例もありますので、その辺の教室の配置、クラス数をしっかり考えてほしいなど。</p> <p>あとこの地域で、ある程度広いところが住宅になるなんてことも考えられるかもしれない。こんなことを言うと叱られるかもしれないけれども、隣に自動車学校があります、運転免許を取る人は減っているので、あそこをなくして住宅が建つかもしいないと、ふと思いました。そういう見通しを区の方は持っていると思うので、そういうことなんかいろいろ計画して進めていってほしいなということなんです。</p> <p>もう1点は、この会議が先週突然ありますと来たので、今日は別の会議を休んでここに参加させていただきました。できればもう少し早く分かると、予定を入れるときにはそこを外して組めるので、その辺もできたらよろしくをお願いします。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>今日は区の方の基本的な考え方ということで、一方的でもいいので、我々は聞いていればいいかと。個別に要望とか考え方を聞いていると、はっきり言うと、時間の切りがないですよ。ですから、今日の話の中で、疑問点とか結構あるじゃないですか。それはまとめて、次回以降に出した方がいいのかなと。あくまでも個別にここでやってしまうと、1つの事例を問うと、そこに話が行ってしまうので。</p> <p>区の方としては、あくまでも改築と図書館を入れたいという話ですよ。それだったら、あまり文句を言いたくないのだけれども、第3回の事例研究のところがありましたよね。少なくとも候補のところは選定しておいてもらった方がよかったと思う。ですから、答え方がね。こういう言い方をすると申し訳ないけれども、今具体的に何校、やっているかどうか分からないけれども、そういうところを見ているとか言ってくれば安心すると思う。これからという「えっ？」となってしまうので、そういうところをもう少し丁寧にやってほしいというのと、先ほど他の委員の方が言ったように、私は安川係長にお電話したのだけれども、自分のところで分かったのは3日前なのです。こっちに帰ってきたらまたまた来ていて、今日も自分の予定で山梨にいましたが、校長先生と話して欠席じゃまずいということで戻ってきました。また戻りますが、もっと早くね。</p> <p>区の方もトップが代わっていろいろ大変だったと思いますが、スケジュール表を今見たら何回は何月と書いてあるので、これはこれでいいと思うのですが、早めに日にちを決めていただくことが1つだと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>これから細かい話が出てくると思うので、図書館は図書館の考え方で すね。ボランティアの方たちとかあるので、区の方もまとめるのは大変 だと思いますけれども、ひとついい方向に進めていただきたいと思います。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。先ほども意見を言わせていただきましたが、 私はこの学校に携わってもう 25 年以上になります。地域の移り変わり、 それからこの生徒たちの移り変わりをずっと見ていくときに、杉並区 として誇りが持てるような場所というのは実際にあるかと思います。本 当に横で見ていて感じるところです。そうすると理想は理想として、教 育論の理想もあり、そこに文化としての図書館の充実というのをすごく 感じるところです。</p> <p>本当に 20 数年前の耐震工事のことを思い起こしてしまいますが、い ろんな理想がある中でぶつけ合って、どこもかしこもこの地域は、この 場所ではできないという結果、今の建物が建ったという事実があったり するので、もう少し具体的にという部分の前に、いろんな事例もそうで すけれども、この地域としてやれる範囲の建築関係のことも調べていた だけるとありがたいかなと思います。</p> <p>先ほど中村部長もおっしゃった半地下というお話がありましたが、実 はたまたま私はコミュニティふらっと成田の方の責任者をこの 4 月か らさせていただいて、実はコミュニティふらっと成田は 1 階ではなく て、地下にあります。保育園が 2 階と 3 階。私たちから見たら 1 階がコ ミュニティふらっとで、2 階、3 階が保育園なのですが、保育園側から したらコミュニティふらっとは地下という認識です。</p> <p>実際、この半年間、あそこの地下にあるコミュニティふらっとを運営 していて、地下ってこんないろいろなことが不自由なのかと実感してい ます。相当空調も完備されているのですが、たまたま昨日も区民の方が、 「この地下のドアが閉まっているごうごうという音が耳について、いれ てせいぜい 2 時間なのよ」ということを私のところに申し出てきた利用 者のお話もあったりしました。</p> <p>残念なことに、地域の方たちがコミュニティふらっとの方にお見えに なることが少ないので、実際 12 時間開いているのですが、地下でやる 上での、虫も実はすごく多いですね。なので、大変さというのは空調 1 つとっても想像以上に、そこで生活を半分、私たち運営している側から</p>

	<p>したら、大変なところがあるのは事実なものですから。でも、建てる前はいろんな理想を聞いた上で、いろんな話で、実際この4月からそこにいますが、地下の難しさもすごくあるのかなということも感じているので、上が無理だったら簡単に地下という話もどうなのかなという部分もありはします。</p> <p>あと当然コミュニティふらっと永福の図書館の方も知っているところですけれども、こうやって中学校と図書館とを複合にすることの難しさ。実際に1か所でいろいろやれるよさはあるのかもしれないけれども、現実そこで行き交う安心・安全だけを考えると、果たしてどうなのかと。日々運営する側としては、安全・安心の部分で難しさをすごく感じるところがありますので、もう少し具体的にいろんなことを、こういう場合、ああいう場合という事例も挙げていただけると、私たち素人が考えやすいのではないかなと思いますので、今後はそういう資料などを提示していただければありがたいです。よろしくをお願いします。</p>
進行役	ありがとうございました。次の方、お願いします。
委員	<p>先ほど校長先生が学校要覧でご紹介されたように、西宮中学校の生徒たちは体育もすごく頑張っていて、部活動では都大会や全国大会に出ているということですが、その割には校庭が狭いかなという印象です。</p> <p>先日、一学期の終わりに体育大会を見学させていただきましたが、長距離走の競技なんかだと、先頭を走っている子が最後尾の子を1周だか2周抜かしちゃって、これはかわいそうだなと思うようなこともありました。校舎の方の充実も大切だと思うのですが、校庭も広く取っていただきたいなと思います。</p> <p>今この限られた敷地面積の中で校庭を取るというのは難しいかもしれませんが、例えばプールなんかは1月期の後半と2学期の前半しか使わないので、なくてもいいかなと個人的には思うので、校庭を広く充実させていただきたいと思います。以上です。</p>
進行役	ありがとうございました。次の方、お願いします。
委員	<p>校舎に関しては、高井戸第二小学校は結構新しく建てていただいたばかりですが、すごくすてきな校舎で、地下に体育館もつくっていただいて、3階にプールもつくっていただいて、通級の方も小さい部屋とか大きい部屋とか、すごくたくさんつくってくださっていて、とてもいい校舎だなと思っているので、校舎に関して私はそんなに不安はないです。</p>

	<p>ただ、さっきもおっしゃっていたように、校庭ですね。高井戸第二小学校の子が西宮中学校に来ると「校庭が小さい」と思うのです。私も高井戸第二小学校から西宮中学校に来た出身者です。私たちのときは陸上競技大会を武蔵野競技場でやっていたのであまり感じませんでした、これ以上小さくしてほしくはないなというのがあります。</p> <p>以上です。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>まず1つは、図書館の関係。私も利用させてもらっていて、娘も年間700~800冊本を借りてお世話になっています。本当に小さい頃から、乳幼児から来ていますよね。お母さん同士も子育ての不安を会話しており、小学生、中学生、大人の方も、生涯教育という意味では本当に知的な集まる場所になっていますので、今のサービス機能を落とさないようにしていただきたいなと思います。単に本を借りるだけのスペースにはなっていないですから、そこは学校のセキュリティ面というのを維持しつつ、守りつつ、工夫してやっていただきたいなと思っています。</p> <p>そういう意味で、スペースの問題として、中村部長がおっしゃったように、地下利用というのを考えていくべきだと思っています。それは図書スペースもそうですし、プールという面でも。プールはあった方がいいと思います。室内であればオールシーズン使えますし、場合によっては地域の方にも利用していただくとか。さらに防災面で、消火用の水という面もあると思います。そのスペースを地下に持つことによって、グラウンドを広く取ることができるという面もあろうかと思いません。</p> <p>グラウンドを広く取ることによって、防災面で、この間も東京大学地震研究所の先生のお話を聞く機会がありましたが、いつ首都直下地震が来てもおかしくないという話でした。熊本だとか阪神淡路、いわゆる兵庫県南部地震みたいなものが来れば、あのとき神戸で700人とかの職員のうち、最初に集まったのは10数名ですからね。ほとんど役所の方も集まれないですから、もちろん震災救援所にも派遣できなくなりますよね。そうすると、結局、地域の救援所の自主防災組織で立ち上げなければいけないです。そのときに、仮設トイレを置きます。例えば女性のところは見えないようにするとか、そういう面でもスペースが必要です。</p> <p>あと最近、ペットと一緒に連れていく方が多いです。犬だから、猫だからしょうがないという話にならないですから、家族の一員ですから。ただ、ペットを人間が休むところには入れられません。入れてしま</p>

	<p>ったケースも熊本ではありましたが、そうしないようにするためにはやっぱり場所を確保していく。そういう意味では、地下なんかに避難スペースを確保できると、外の一角にペットを連れて避難した人が自分でテントなり車に泊まって、ペットと一緒に過ごすスペースをつくるとか、そういったことにもつながります。</p> <p>本当に明日とか今日来てもおかしくない地震ですから、学校が一夜にして避難所になるわけですから、そういうことも考えながらやっていただくのがいいのかなと思います。</p> <p>あと1点は、やっぱり3年ぐらい、1年生から3年生まで仮設校舎で勉強するという子が出てくると思います。その子どもたちに不自由がないように、教育面とか健康面で質が落ちて、不具合が生じないようにやっていただけたらありがたいかなと思っています。よろしく願いいたします。</p>
進行役	ありがとうございました。次の方、お願いします。
委員	<p>先ほどもいろいろお話しさせてもらったので、1つ補足ですが、今、宮前図書館で区民にいろいろなサービスをしている中で、障害者サービスというのがあります。</p> <p>私も絵本を借りにいったりしたときに見かけたのですが、対面朗読という希望を中央図書館に出したら、その方の地域の図書館で朗読してもらえる。そのときに多分、恐らくこういう防音のお部屋みたいなところで、宮前図書館の小さなお部屋でそれをなさったように思います。回数とか利用数は多くはないかもしれませんが、そういう機能をやはりなくさないでほしいと思います。</p> <p>それが杉並区のいいところだと言えるような、そんな図書館にしてほしいなと思っています。よろしく願いいたします。</p>
進行役	ありがとうございました。次の方、お願いします。
委員	<p>複合化施設というのは仕方のないことなのかもしれないと思いますが、図書館は入っていませんけれども、高円寺学園が複合化しています。一般利用もできるようにはなっています。でも、それはどのように学校と一般利用との区別ができているのかと。それはよく分からないので、見てみたいなどは思います。</p> <p>あと、高円寺図書館が今度複合化施設の中に入る。そこも一体どのようになるのかというのがよく分からないところで、とにかく面積が決まっていて、そこに全て押し込もうとは思わないでいただきたいと思います。可能な限り、今までのことが確保できるような施設であってほしい</p>

	とは願います。以上です。
進行役	ありがとうございます。次の方、願います。
委員	<p>僕は高井戸第四小学校に来る前は上井草にある三谷小学校の校長でした。築 50 年以上の小学校を渡り歩いている身からすると、高井戸第二小学校なんかに行くとするきだなとすごく思います。</p> <p>小学校は 6 年間のうちに改築の期間が 3 年間だから、子どもたちの中にプレハブなんかで我慢していても、すてきな校舎で過ごせる時間がきっとあると思いますが、今、そんなに大勢ではないが、高井戸第四小学校の卒業生が西宮中学校に行っています。とてもいい学校で、みんな楽しく通えています。ただ、今のこの計画だと、4 年生は 3 年間丸々仮校舎だなと。3 年生は 2 年間、2 年生は 1 年間だなと。小学校の今の 1 年生が西宮中学校に来たら、新しい校舎で勉強できるなど。</p> <p>だから、先ほどから皆さんおっしゃっていますが、僕の立場からしたら、きっとできた後は皆さんの願いがかなったすてきな校舎になると思いますが、建築中の仮暮らしの 3 年間の生徒たちが、どういう工事になって、どういうところで勉強していくのかということに、そこ 1 点だけに私の参加している意味があるかなと思っています。以上です。</p>
進行役	ありがとうございます。次の方、願います。
委員	<p>校長先生が出されました「信頼される学校づくり」の一番下にある「都立西高校などの上級学校との連携を図った進路学習など、生き方学習を推進する」というのはすごくいいなと思ひまして、この地域ならではの取組で、図書館の方も 10 代の子どもを対象にしたコーナーをつくっていますよね。そこには進路指導を含めて、私は今『10 代の脳』という本を読んでいますけれども、中学生で高校の少しレベルの上のものに触れるのもすごく大事だなと思っています。</p> <p>実は西宮中学校の図書館に 200 字意見文を書かせるという本がありまして、当時、桃井第三小学校の 6 年生を指導していましたので、「書いてみる？」と言ったら、「やってみる」と言って、最初、全員はできませんでしたがけれども、3 回ぐらいやるうちに、30 名学級でしたけれども、全員が書けるようになりました。人のために何ができるかといったことや、自分の生き方に触れての文章を書く。卒業文集が見事でしたね。</p> <p>校長先生がここに生き方を掲げていますがけれども、中学生が少しレベルの上のものに触れることはすごくいい刺激になるため、ぜひ図書館の</p>

	<p>中にもそういうコーナーをつかってほしいなと願っています。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>皆さんの話を聞いていて、私の中学校時代は今から65年も前の話なので、1学年500人以上いて、10クラスもあった。1クラス50人以上でしたけれども、その当時、図書館なんかあったかなと思います。たしか職員室の一部に図書の棚があったなど、そんなようなことしか覚えていませんが、中学校にそういう図書館ができるのはすばらしいなと思います。我々の頃からすると、本当に別世界ですけども、そういうすばらしいものができるのは本当にいいことだなと思います。いい施設ができることを期待しています。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>いろいろ皆さんのご意見を聞きながら、思うところはいろいろありました。</p> <p>西宮中学校が図書館で授業をすることができるというふうにおっしゃっていたことは、今の日本の学校図書館の状況の中では最先端になります。ですので、西宮中学校の学校図書館活用というのが、このまま日本の最先端をさらに進めていって、フロンティアにしていってほしいという状況に、今回の改築がどういうふうに貢献していくようになるのだろうかというところも1つ、私の中では期待と不安と両方あります。</p> <p>それから、皆さんのお話を聞いている限り、私の住んでいるところは中央図書館に近いので、そちらが拠点だし、夫は宮前中学校出身で私は東田中出身なので杉並で教育を受けており、地域が違いますが、事情は察せられます。合築と言われたときに、西宮中学校だからできるというふうに思ったのが、まず最初のイメージでした。こちらの落ち着いている環境だからこそ、やれるのではないかという可能性を考えられたのかなとも思いました。</p> <p>ただ、高井戸中学校と高井戸図書館の状況を見ると、あの扉が重い。中学校校舎と公共図書館をつなぐ扉が重い。似たようなコンセプトで、滋賀県東近江市にも同じような中学校がありますが、やはりその扉が開くのは昼休みだけです。</p> <p>せっかく日本で最先端の学校図書館活用を図っている西宮中学校の学びに対して、学校図書館が関与していくというすばらしい状況が、それによって後退してしまうことは絶対あってほしくないというのが、これまで聞いていた情報から思うことです。</p>

それから、宮前図書館も、歴史もあるし、利用は多いし、本を貸すだけでなく、そこで文化的なコミュニティも育まれているということが皆さんのお話からよく伺えました。「狭い」という言葉が図書館側からも学校側からもたくさん出ましたので、合築が本当に可能なのかというのが、今の私の疑問です。

合築して両方で一緒に使うといったときに何が大事かという、お互いに遠慮しない。遠慮すると、両方どんどん遠慮してしまっていて、結局沈滞してってしまうというのが今までのパターンだと思います。そうすると、どこまで積極的にお互い使い合うことができるのかという、その運用方法の方がかなりの割合を占めていくのではないかと思います。

前に千代田区の麴町中学校の校長であった方が、神奈川県私学の校長先生になられましたけれども、その方は新しく行った学校で「学校の特別教室を、民間の方々に開放してもいいと思っている。何かやりたい人たちに対して、学校の施設を使ってもらってもいいと思っている」というふうにおっしゃっていたニュースを見たときに、学校がそこまで地域にオープンになれるかという話もあると思う。

子どもたちの学びが、まさに本当に自分で自分の学びを見つけていく。先生たちがそれに寄り添って、いろんな改革をされているというのが今の学校の現場ですので、そこにICTも入ってきて、ICTの運用も同時にやっていく。そうすると、図書館サービスそのものも今までのサービスに加えて、向こう80年どんなサービスが一体生まれてくるのだろう、どんな住民サービスが可能なのだろうかというところと、学校の教育がどんどん変わっていくというところと、どう組み合わせさせていけるのか、未来を見据える必要があります。それを誘うような建物ができるのであれば、日本で初めて、多分複合化してよかったねという学校図書館と公共図書館の例になるかなと思う。学校側にも図書館側にも、すごく覚悟が必要だと思います。本気でやっていけたらすごいなと思っています。

私は小学校のときに、永福図書館の利用者でした。永福図書館は、小さかった目から見てとても広くて、児童室の本から大人の本も借りたくて、中の共通する扉を開けていただいて、子ども室から大人の部屋にも行かせていただいた、そういう子どもでした。新しい永福図書館に行ったときに狭くなってしまっていて、すごくがっかりしました。前の永福図書館のあの大きいイメージ、しっかり資料を提供してくれているという文化的なイメージが……。

	<p>21 世紀ですので、令和の時代ですので、新しく格好よくなったとは思いますが、何かそこには足りないものを感じたというのが、ノスタルジーに浸っているかもしれませんが、新永福図書館を見たときの私の感想でした。</p> <p>ですので、この西宮中学校と文化的な活動をずっと育んできている宮前図書館の複合というのは、もう絶対決まっているのですか。</p>
<p>学校整備担当 部長</p>	<p>そういう方向でやりたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>だとしたら、本気でやらないと、どちらも低下していくというおそれが十分ありますので、そこはしっかりご検討していただきたいと思いますというのが今日の私の思いです。</p> <p>今の最先端、学校図書館って、私学ですので資金があるからできたとは思いますが、中軽井沢の風越学園は図書館の棚が見事です。まさに設立者の思いもあり、図書館の中に学校があるというコンセプトでつくられたところですね。独特の教育をしていますので、どこまで公立で参考になるかということもありますけれども、全部がオープンスペースで、小部屋のようなコーナーがいっぱいあるという不思議な建物ですので、1つ参考にはなるかなと思っています。ただ、遠いですが。</p> <p>あそこは私学ですので、別に一般開放しているわけではありませんが、学校という空間の中に一般の人がいる、あるいは一般の人たちが使う空間の中に中学生が学ぶということが、果たしてどこまで可能なのかと。これはすごいチャレンジだと思っていますので、本気で取り組んで、あそこはすごいねと言われる日本の成功事例にしていきたいなと思っています。</p> <p>子どもが3年間、改築中耐えなければいけない期間があるということと、それから7ページに図書館自体に長期休館がないということで、それはいいよとメリットで言われても、誰かがどこかで我慢しなければいけないことだよねと思ったし、宮前図書館の跡地については「跡地活用を図る」とさらっと書いてありますけれども、そこに図書館がなければ全く別物になってしまうだろうし、どういうふうに活用されるのかなというのも気になるころではあります。この土地で育まれてきている市民の営みというのが継続していけるように、ぜひ皆さんで考えていくといいなと思っています。</p> <p>今日、建築家の先生の方から、融合施設をやっておられる先生でしたので、お話を聞くのを楽しみにしていましたが、次回以降、楽しみにし</p>

	<p>たいなと思っています。よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>各委員の皆様からご意見を頂くことができました。どうもありがとうございます。</p> <p>それでは、次に、次第8の「事務局からの連絡事項」についてお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今回、開催通知など遅くなってしまって、大変申し訳ございませんでした。また、町会さんの方には6月に1回開催というお話もさせていただきましたが、急遽、延期ということもございまして、いろいろばたばたしてしまって大変申し訳ございません。次回から早めにその辺、日程調整等もさせていただければと思います。</p> <p>私の方から連絡事項として1点目ですけれども、本日の会議録でございます。2週間後ぐらいをめどに、皆さんに議事録の案を郵送でお送りさせていただきますので、ご自身の発言の箇所など確認していただいて、修正の必要があればご連絡を頂ければと思います。</p> <p>懇談会資料と議事録については、先ほども申し上げましたけれども、教育委員会のホームページに掲載してまいりますので、ご確認の方よろしくをお願いいたします。</p> <p>それから、2点目。資料として、事前にご感想シート・アンケートをお配りしてございます。上段のご感想シートにつきましては、先ほども委員の方から一通りご意見・ご感想なども頂きましたが、そういったところをここで一々やっていると、というようなお話もありました。話し足りない部分、また伝え切れなかった部分がありましたら、こちらの方にご記入いただければと思います。</p> <p>また、中段以下のアンケートは、先ほど資料3の「今後の進め方」でもご説明しましたけれども、次回以降、改築の基本方針ということで、そちらをつくる際に参考にさせていただきますので、ぜひこの改築に当たっての思いなどありましたら、アンケートへのご記入をお願いできればと思います。</p> <p>既にご記入いただいている方ですとか、今日ご記入いただける方は、後ほど受付で係員にお渡しいただければと思います。持ち帰られる場合については、資料一式等とお送りさせていただいています返信用封筒に入れて、後日、来週末の8月19日ぐらいまでに返信いただくと大変助かりますので、よろしくお願いいたします。私からは以上です。</p>
進行役	<p>それでは最後に、閉会に当たり、学校整備担当部長よりご挨拶がござ</p>

	います。
学校整備担当 部長	<p>皆様、今日は長時間にわたり貴重なご議論を頂きました。ありがとうございます。</p> <p>何といたしまして、今日の目玉は複合化かなと予想してまいりましたが、やはり質問の中心もそうだったなと思っています。本日は区側からこういう形で西宮中学校、それから宮前図書館の改築を図りたいという基本的な方針を申し上げましたが、こうやりますというのをお示しできませんでした。</p> <p>1回目でこういうふうにするけれどもどうでしょうか、A案、B案、C案、ここまではなかなか出せませんでした。先ほど申し上げたように、様々なシミュレーションを始めています。何人かの方から頂いたご意見は想定しているものもありますし、ああそうか、気がつかなかったなと思うものもあります。そういったことも改めて聞きましたし、さっき委員の方から、この場で言葉を交わすのもいいけれども、どんどんメールだとか、そういったもので出してもらいたいということもどんどん出していただいて、そういったものも加味した段階で、こうやるのはいかがでしょうかという複数の案を皆さんにお見せして、もう一度ご議論いただきたいなど。これならいけるねとか、まだここが足りないとか、そういったことも様々ご意見を頂きたいと思います。</p> <p>それから、最後に、委員の方から大変示唆に富むご意見をいただきました。複合施設というのはつくって終わりではありません。どうやって運営するか。運営する主体が複数あるわけですね。学校を1つつくるならば、運営する主体は1つ。複合施設は運営する主体が複数ありますから、どういう調整が必要か。それは運営する主体だけじゃなくて、使う側もそうです。</p> <p>そういったところの運用状況もしっかり見定めた上で、この複合施設をどうやっていくのかということまで、ある程度皆さんからご意見を頂いて、目算を立てていかないと、他の委員の方も言われたように不安だけが残る。そういった形にもなると思うので、そういう参考になるような実例を、先進自治体も含めて、少し皆さんからご意見も頂きながら見に行ってみたいなど。</p> <p>ただ単にこう建てただけじゃなくて、こういうふうに戻していますということも参考になるような事例を探してみたいなと思っています。これが3点目。</p> <p>4点目は、先程、複数の委員の方からも言われた、工事期間に通うこ</p>

	<p>とになる中学生をどうするのかということについて。これはここだけの問題じゃありません。小学校もそう。小学校は6年あるので、入ったときは駄目だったけれども、高学年になったらセーフというのがあります。中学生は3年間ジャストミートしてしますと、本当にアウトになりますよね。それでも何とか、仮設校舎になるかもしれないけれども、それ以外のところ、例えば代替校庭をどこかに用意する。特に中学生ですからね。なるべく支障のないように。</p> <p>今の仮設校舎はかなり良いものです。ご存じの方もいるかもしれませんが、早稲田通り沿いにある中瀬中学校がいま仮設校舎を建てているため、昨日視察を行いました。これから建ってくると思いますけれども、すばらしい仮設校舎です。でも、仮設校舎ですからね。中瀬中学校も今校庭がないような状態になってしまっていますけれども、近隣の小学校や中学校に何とか中瀬中学校のために校庭を貸してくださいと努力しています。同じようなことを今、神明中学校でも、西宮中学校でも汗をかかせていただきたいと思っています。それは約束します。これが4点目です。</p> <p>まだ様々、このキャパシティのない学校にどう建てていくのかということも含めて、大きな課題をたくさん頂いたと思っています。そういったことを一つ一つ皆さんに披瀝していきながら、問題を解決していきたいと思っています。</p> <p>本日は長時間、ありがとうございました。</p>
進行役	<p>本当に部長から心強いお話を頂きまして、我々も非常に勇気が出たところです。その部長が途中でいなくなったりしないことを、我々は望んでおります。よろしく申し上げます。</p> <p>それから、今後も意見も聞いてくださるということでしたが、ほかの区市などでは、後で意見を言ったら「そこはもう変えられません」と言われたりすることがあります。今、本当に心強いお言葉を頂きました。部長を信じて、みんなこれからも議論を続けていければと思っています。</p> <p>それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございました。</p>